

中川根ふる里通信

= 第56号 =

編集・発行・モアブ中川根
連絡先 〒428 0313
静岡県榛原郡中川根町上長尾 859-6
中川根ふる里通信係
TEL 0547-56-0015
郵便振替口座 00870-4
-81556



2000.9.12. 大洪水の大井川
橋脚を補強した中徳橋を濁流が襲う。
9年ぶりの満水、川向うは上長尾地区。

95歳以上の長寿者の方々

久野脇	松下	とめ	さん	101歳
水川	石山	種一	さん	101
高郷	山田	クマ	さん	101
久野脇	小平	さと	さん	99
徳山	横澤	長一	さん	99
上長尾	木村	洪平	さん	97
徳山	兼松	あい	さん	97
瀬沢	駒井	とめ	さん	96
上長尾	長塚	じゅん	さん	96
徳山	大岩	はつ	さん	95
地名	美作	なか	さん	95
梅高	美	寅	さん	95
地名	滝	義彦	さん	95
高郷	加藤	きみ	さん	95

*高郷の山田さんは、長野地区から移り住んで来た方です。今も、大井川岸へ、ゲートボールを見に行くのが楽しみです。

中川根町の総人口が、男子三三三〇人、女子三三三〇人、計六六六七人。七十五歳以上が男子三六四人、女子五四二人、計九〇六人。九十歳以上が男子二十五人、女子五十三人、計七十八人です。八十歳以上の夫婦は三九組、世帯主の方も二二人と、家庭の中心になられていらっしゃる。家族の皆さんの深い絆に守られて

敬老の日に招待される高齢者の方が以前は七十歳でしたが、若すぎるなどの理由で、うか、徐々に引き上げられ七十五歳となりました。九月十五日には地区ごとに敬老の日をお祝いします。

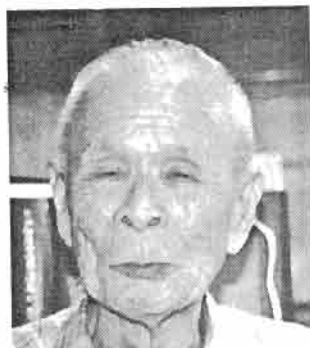
見事証明されました。

“緑茶パワーの長寿中川根は”

暑い暑い夏が過ぎ、柿の実もあからんで(色付くこと)秋がやって来ました。ふる里にも様々なドラマがあり、また嬉しい事、悲しい事、自然の営み、人々の営みなどお届けいたします。

奈良間辰夫さん

勲五等瑞宝章を受賞



徳山の奈良間辰夫さんが、教育一筋に職務に励まれ、地域の教育の振興に貢献されましたことから、勲五等瑞宝章を受賞されました。おめでとーございます。

いらっしゃる方、ご夫婦で助けあって住らしている方、一人住らしても頑張っている方、様々な方がいますが、激動の一世紀を生きて、なお輝いていらっしゃる皆様、ただ、頭が下がります。この土地は、いくつになってもやる事(仕事や遊び)があるから、元気なのかも知れません。茶処、中川根は、みんなお茶を呑む、おいしい空気と水があるのも、隣りを気遣う、せむしがあるのも、大きな要因かも知れません。

また、昭和八年、静岡師範学校専攻科卒業、同年四月より、志太郡東川根尋常高等小学校訓導を命ぜられてより、三十二年、主に榛原郡北部地域に勤務し、山間地の教育向上に、常に誠実を念頭に率先垂範して、教育に専念されました。特に終戦前後三年間の志太郡世間村国民学校での働き、地教育においては、日常生活に困苦の中、師弟一如の労働教育を通して、児童の育成に大きな成果を上げ、地域の人の厚い信頼を得ると共に、地域住民に生涯忘れることの出来ない感銘を与えました。奈良間先生が赴く所、常に四季を彩る花壇づくりをとり入れ、咲き誇る花の美しさに多くの子供達が心を洗

われ、美しいものや自然に対して、感動する素直な心、生命を尊重する心、他者への思いやりの心をもった人間として成長して、くれることを強く願い、花壇づくりを教育の一環として実践されました。こうして真摯な、しかも地域に密着した教育理念は、常に父兄から信頼され、また教育界にも大きな影響を及ぼしました。

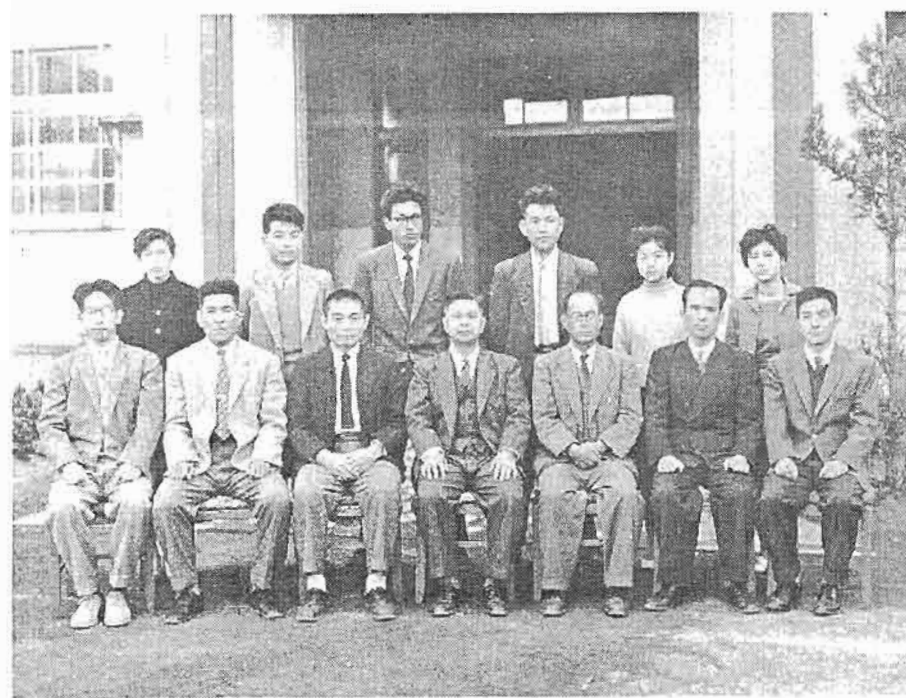
常に地域に根ざした教育の発展を願い、時代のすう勢をよく見極め、自己の勤務態度には厳しく、職員に対しては、教師個々の特性を生かしながら、勤務への熱意と確かさを求め、指導力向上の研修を勧められました。いずれの奉職校においても先生の誠実な人柄と地域に密着した教育理念は、部下職員を感化し、多くの優秀な後継者を輩出しました。

昭和二十八年四月から校長職に任せられ、以来退職するまでの十年間、小中学校長として児童生徒の教育にあたり、美しいものや自然に感動する心などの柔らかな感性、自立心、自己抑制力、責任感などの育成を大切にして、経営にあたられました。この間、町教育会においては会長として町教育の振興に努め、山間地の教育に大きく貢献されました。昭和三十八年は、町内の中学校二校（中川根中学、徳山中学）が統合された年で、統合推進に奇与し、統合を目前にして退職されました。常に誠実で卓越した教育理念をもって教育一筋に取り組まれた幾多の功績は、誠に大いなるものがあったといえます。

(資料提供、中川根町)

退職後、司法書士の認可を得て、父の業を継がれ、現在も現役の司法書士さんです。先日、お伺いした時おっしゃいました。「私は長く生きすぎました。教師の中には、私よりもっと立派な方は大勢いらっしゃいます。その方々にも申し

わけない。出来れば載せないで下さい。」と。私も中川根中学校三年生の時、奈良間校長先生のもと、素晴らしい先生方の授業を受けました。全校生徒三六〇人にわすか十二人の先生、遠路からの通学、石ころだらけの運動場、校長先生が魔法使いの様に美しい花を咲かせてくれました。いつかの同級会の時、出世した男子曰く、「卒業式の時、校長先生が話してくれた事、ずうっと忘れないよ。『一生懸命努力すれば、いつかは報われるから、辛い時にも頑張ってほしい。』何度も先生に教えを受けた子らは、あちこちに美しい花を咲かせておきます。



昭和34年在職、中川根中学校の先生方。(卒業アルバムより)
 上段左より
 山本昭子先生、横山利彦先生、大村哲男先生、栗原善治事務官
 庄田友子先生、大石治子先生
 (旧塚本) (故人)
 下段左より
 山本武雄先生、川井勇先生、金沢守衛先生、奈良間辰夫校長
 中村唯次教頭、赤堀淳郎先生、大石承弘先生
 (故人)

被害に遭った場合は勇気を持って相談を

十月末までの暴力団総
合対策特別強化月間で各
種活動の指揮を執る。臨
識を中心に刑事畑を歩
み、今年三月から現職。

す。キャラバン隊の巡回
訪問に加え、二十七日に
は暴力追放・統制根絶大
会を開きます。

と特徴は、
一県内には約百四十の
組織があり、構成員は約
千百三十人。あいさつ料
要求など古異的な資金獲
取に金

得活動に加え、経済社会
への進出など多額の資金
を獲得する二極化の傾向
にある。

暴力団追放に向けて
「暴力団を恐れぬ、
利用しない、暴力団に金
を出さない」という『三た
い運動』を実践していた
だきたい。被害に遭った
場合には、勇気を持って
相談・届け出をしてほし
い。

一県警としての今後の
姿勢は、
「民事介入暴力団対策に
対する取り組みも強化
したい。暴力団情報に関
して、県民の皆さんにで
きる範囲内で提供もして
いく方針で検討してい
る」

この人

五十五歳。

一月間の趣旨や主な取
り組みを説明して、この人

「暴力団の存立基盤は
人、金、武器。暴力団対
策法の運用を徹底した取
り組み、暴力団排除活
動で組織の壊滅を目指

す。キャラバン隊の巡回
訪問に加え、二十七日に
は暴力追放・統制根絶大
会を開きます。



こいけ まさたか
小池 正隆さん(静岡市 銭座町)

暴力団総合対策特別強化月間で各種事業を展開する
県警暴力団対策第一課長

10月15日(日)
静岡新聞、ふるさと中部
情報ワイド「この人」に
小池正隆さんが
(下長尾出身)

載りました。
静岡新聞中部版をご覧に
なった方もいらっしゃるかも
知れません。

小池さんは昭和34年度
第13回中川根中学校卒業
の同級生です。前ページの
奈良間校長先生のもとを
単立ち、誠実、勤勉、努力
を重ね、今は、静岡県警察
の中核を担う、県民を守る大切
な人となりました。

左、新聞、この人を広くお知らせ
したく、お届けします。
中川根出身の人が、頑張っ
ていると、とても嬉しく思います。
この方も、奈良間先生の花を
美しく咲かせたのと同じ、と
感じました。

大井川大洪水

九月十一日夕方から降り出した雨は、山止
みなく続き、夜中(十二日)一時すぎから頻繁
にダム放水のサイレンが鳴りひびきまわ
り、これほどの大洪水になるとは想像しな
かった。

台風ははるか沖繩の東方海上にあっ
て、北上する様子もなく停滞し、たつたか
台風をとりまく外側の雲が本州南岸に
かかり、所々で集中豪雨となっていた。
南アルプスに南からしめった雲がぶつつか
ると大雨になり、今回も湿舌が来ていた
から、豪雨になったのだと因か。

過去、大洪水が大井川両岸の地域に災害
をもたらした要因に、多雨量の外に、源
流部開発と鉄砲水があります。今から
一八〇年前の文政十一年、大洪水は水
川河内、が崖くずれてせき止められ、ダムが
出来、大雨でせきがいきにくずれ、下流へ
流れたという。九年前の九月十九日、上
流の仮ダムが崩壊した。

今回は野水まじかの長島ダムが、ダム
になってしまつて、ダム湖底にあった木枝を
流し(数千本とか)は、半日に渡つて、
満水の川面に、大きな材木の流送を見
ることができ、久々に大いなる川の実力
をながめることが出来た。



10月28日(土)に 『山のこと森のこと体験会』

が尾呂久保の上の白羽山(ラッドハウス おろくほ)より歩いて15分)で行なわれます。

＝体験の第一歩は植樹からです＝

これは尾呂久保の鈴木邦昭さんが、杉、松の人工林を伐採後(約1ヘクタール)を21世紀に続く森を皆さんの手で造って下さい。と貸して下さった事から始まりました。

今春から森づくりスタッフが30人位集まり『どんな森にしようか。何を植えようか。植えた後はどうすれば良く育つか。』など、森づくりを中心に、地形、気象条件、環境、木材産業などいろいろな方面から、話し合い勉強を重ねて来ました。

当日は、県内各地から320人の人達が木を植えるに集まって来ます。地元の小学生、市下の中学生も参加してくれます。学校林体験済の川根高校生は前日、手伝ってくれます。植樹は約2000本、1人6本以上の植え付けとなるでしょう。(1.2mの本

みんなで育てよう

白羽山(しろわさん) ははたきの森

- スギ、ヒノキ、ケヤキ、
- キハダ、ヤマザクラ、コナラ、ミスナラ
- ヒメシャラ、ヤマボウシ、ナツツバキ
- カエデ類、エゴノキ、
- トチノキ、フナ、ツツジ類、
- クルミ、ハクウンボク、アカヤシオ
- シロヤシオ
- 自生の木

山仕事ゾーン
0.3ha
830本

ふれあいゾーン
(ふれあい・学び・景観)
0.53ha
1,085本

広場ゾーン
0.15ha
125本

山のこと森のこと体験会

森を知ろう！
森で遊ぼう！
森を食べよう！

日時 2000年10月28日(土) AM10時から

場所 中川根町 ウッドハウスおろくほ

内容 大井川の探検 樹木・苗木鑑賞 その他お楽しみいろいろ

お問い合わせ 静岡県志太権原農林事務所 森林整備課 TEL054-644-9243

あるから、穴掘りも大変だ(と思うけど) 天候に恵まれれば、深まりゆく秋と、土の香と、富士山遠望、昇り行く大井川曲流をながめることが出来るでしょう。雨が降ったら、根えられた木々が『ラッキー♪しっかり根付くからね』と答えてくれるでしょう。

＝その後の体験会は…… 立派に育つまでの長い道程に

このころ里山も奥山も山を守り育てる人達の元気がありません。しかし、後継者のいない山主さん曰く『裸山をほったらかしにするわけにゃーいかん』と、幼木を守り育てているのです。その方は成林となった姿は見る事は無いだろうに、

森林の果たす役割をお金に換算するならば、何と **成林、1ヘクタール1年間1,450,000円** となるそうです。土地代、立木代以外は、生き物全てのためになっているのです。酸素が、無ければ、水が無ければ……

ははたきの森は、みんなの森です。やかて、花が咲き、小鳥や昆虫が来て、秋には、実りと紅葉が見られるでしょう。皆さん、山仕事やりましょう。来て下さい。

特集 南アルプスと大井川

南アルプス探訪

その4

① 主峰 赤石岳登山

地図には赤石山脈と書かれている名だたる主峰赤石岳登山を、紹介します。

南アルプスは南北に長い山脈で、又川上流の光岳付近から荒川岳付近までを南部といわれています。三ノメイトルをこす峰々が六山太平洋に向かい聳り立っています。電源開発が大井川最上流部まで進められた事から、大井川を廻る自動車道が出来るまでは、静岡側からの登山は容易ではなく、わすか、寸又川を廻るルート、光岳から聖岳、赤石岳、荒川岳をこえて三軒小屋山梨県早川へ行くか、長野県大鹿村へめけるか、だった様です。主流は長野県山梨県にありました。

静岡駅から井川、畑薙へバスや自家用車で入るにせよ、金谷駅から大井川鉄道、井川アトラインや川添いの道路で井川へ入るにせよ、登山口までの行程が長い時間を要します。登山口から尾根や小屋への急攻は、体力を要し、健脚ベテラン登山者から、河を流させます。この交通の便の悪さと、登山行程の長さ、急峻地形が、容易に人々を寄せつけず、富士山や北岳など登山者増加による環境悪化問題にも、今のところ、許容範囲のようで、豊かな自然を残すことにもつながっているようです。

急峻な登りの第一番は、三軒小屋から千枚岳。第二番は寸又川柴沢から光岳。第三番目は榎島から赤石岳。又畑薙大吊り橋から茶臼岳コースもかなりな登りで、いずれも等高線のほとんど高低差一キロ以上を短距離で結んだ登山道です。比較的急登が少ないコースは、榎島から千枚小屋、聖沢から聖平



赤石岳頂上より北方を望む。手前、小赤石岳、右より荒川東岳、中岳、前岳

赤石小屋より、右小赤石岳、左赤石岳(夏山)は中央の鞍部に登るようになって、登山道(夏山)は中央の鞍部、中央のカルド地形は、赤石沢、北沢(雪渓)の源となり、高山植物の花園です。



小屋ですが、距離は長いようです。昨年、今年の夏休み、榎島で行われたカモシカキャンプの手伝いをしました。(カモシカキャンプのことは是非お知らせしたいので、次回号に載せます)榎島は、静岡県側からの南アルプス登山の最大基地です。から夏休み中は、登山者で大にぎわいです。特に中高年の方のグループ、夫婦、女性グループが目立ちます。

又、榎島は、前回号で原田さんが書かれた様に、東海バルブの山林事業基地であり、創始者大倉喜八郎翁の八十八歳記念赤石岳登山の碑も、榎島の大樹に囲まれて建てられています。大倉翁の登った道を私も登ろう・・・

そして、昨年九月十八日、台風もすきて、夏の終りを思わせる登山日和、息子二人と共に、榎島の地に立ち、赤石岳を目指しました。大倉尾根と名付けられた、東尾根は、うっそうと茂った樹林帯の中を縫うように登って行きます。林層も、唐松、杉、松の造林帯にも、ブナ、ミズナラ、ツツカ、ハリモミなど、大樹が混りみじみとした森林となつ

ています。

高度が増すにつれ、カバノキ科の樹木が目立ちます。イヌシテヤミヤマハンノキ、ダケカンバなどです。ダケカンバの乳白色のカサカサした木肌を見ると、高い山へ来た感じがします。カバノキ科に平行して、マツ科の樹木も林層が豊かです。マツ科は、山の入達の言葉で黒木(クロキ)と言って、山をながめて緑が濃く、黒い影を落とす堂々と立っています。ニキメートルをこして、ゴヨウマツ、ウラジロモミ、コメツガ、トウヒ、そしてシラビソの樹林帯に入ると、赤石小屋は真近かです。さすが名だたる急登、あえぎあえぎ登ること六時間弱、赤石小屋に着きました。その間、トリカブトの真紫の花や、道脇のきのこ類、小鳥のさえずり、風と共に流れる穀が元氣付けてくれます。又、豊かな樹種の林は、気持ちよく疲れた体を癒してくれます。特にシラビソの林の中は、香わしい香りが漂い、心身が奥から洗われるような不思議な世界です。

赤石小屋は、夏のにぎわいをよそに、今夜のお泊りは七人と落葉の散る音も聞えず、静寂に包まれていました。御主人の話では「九月からは登山者数もめっきり減って、お客さんが来ない日も多いよ。十月十五日頃まで開いているけど」と言っていました。

同泊の二人組の男性は、「三角点探検隊長、鈴木宏志さんと土屋敏吉さん(副隊長?)島田中在住、赤石山脈のほとんどの地主さんの東海バルブ、東海をレストにお勤めで、日本で一番高い一等三角点は、赤石岳頂上(三二二〇m)とのお話して、明日は三角点探検、との事でした。そして夜、遅く、月光の無い満天の星空を望み、八千尺よりの星々のきらめき、を心ゆくまでながめました。白鳥座の十字、ひときは輝くベガ、ミルクウェイの銀河、南斗六星、川根の空より何倍深く澄んでいるので、うか。

雲も山も赤く染め、朝日が昇りました。朝七時出発、稟とした冷気が心地よい。富士見平に立つ、ここは、東に筑ヶ岳、雲の彼方に霊峰富士、北に荒川三山、西に赤石、小赤石、南西に聖岳と大井川上流の山々、四方に名山を見上げる絶景地です。ハイマツとナナカマドが群生し、あと十日もすればナナカマドが真赤に色付き、ハイマツの深緑にいつそう生えることして、う。ここから、小赤石付近に続く尾根は、ラフタの岨と、いつて積雪期の登山道ですが、夏道は尾根下に横道が作られ、赤石カールの真下の北沢まで続きます。ここから、沢添いに登る急登が始まります。高低差三〇〇m、岩間につけられた道を必死に登ります。夏の名残りのタカネマツムシウが風にゆれ、むくむくと湧く雲を見、呼吸をととのえ、ひたすら登り、十時頃鞍部嶺線に着きました。赤石岳も小赤石岳(三三〇〇m)も最近です。嶺線のあちらこちらに黄色く変化した夏草やウラシマツツジの紅葉が見られ、岩肌と調和しています。

赤石岳頂上に立ちました。三六〇度の大パノラマが展開されました。富士見平で見上げた嶺々が水平に見渡せます。遠く北アルプス、中央アルプス、ハケ岳、奥秩父の山々、ややく南アルプス北部の嶺々、赤石岳から狭く大沢岳、丸山、鬼岳、さらに茶臼岳、光岳と、嶺線が長く伸びています。南部の嶺々は、山頂付近まで緑に覆われ、百間平の様な平坦な地形もあり、箱庭のようです。

山頂は広い台形で、三二二〇m地点が少し小山の様な形です。鈴木さんのおっしゃっていた、日本で一番高い一等三角点にも手をふれました。一億年以上前は、海の底だった証拠の赤石粘板岩(ラジオリア)も、褐色の岩肌を見せ、て広く分布しています。やはり、南アルプスの主峰、赤石岳は素晴らしい山でした。

②日本で1番高い三角点は 赤石岳頂上にあった!!

私の山々

NO. 119
1999年
汗動・感動・感動
EMOTION 鈴木宏志

三角点探索隊

隊長 鈴木宏志



〒427-0017

静岡県島田市南 1-2-2

TEL & FAX(0547)36-4624

携帯 IDO 0904 215 4817

E-mail

h4408s@msi.biglobe.ne.jp

NO. 158 赤石岳 (あかいしだけ) 標高3120米 一等三角点 99. 9. 18~19



一等三角点と私



赤石岳の山頂にある三角点は
日本で最高峰にある「一等三角点」である
赤石岳にはこれまで3回目の登頂となるが三角点の確認は
今回ははじめて

「三角点探し」にのめり込んだのは
八年程前のこと、これまで二二三
個の三角点確認(一九九九年十一月)
二〇〇〇年には十〇個?

私が「三角点探し症候群」という熱病に侵されて五年半に
なります。この病気は地図上に△印であらわされている三角
点の場所を突きとめる為に、なり振り構わず山野を駆けす
り回るといふ奇病で、今のところ特效薬はないようです。
この三角点というのは日本の各所に三角測量の基準点とし
て埋められている花崗岩製の標石で、古くは日本陸軍参謀本
部・現在では国土地理院が管轄しているもので、一等から四
等まであり、測量法で定められている永久標識です。
感染経路は、すでに有保菌者であった近ちゃんことTQC
の御所・神原近史氏と、うかつにも接触したことによるもの
です。この近ちゃんに、「どうしても発見できない三角点があ
るよ」と誘惑され、感染させられたのです。
きっかけとなった三角点は大津の丁仏参道の茶畑の中に
あったもので、大苦勞の末発見しただけに菌の力は強く、
中毒症状を引き起こしてしまったのです。
それからというもの、近ちゃんと私の三角点探しの先陣争
いという同病相哀れむ戦いがはじまりました。発見した病
原菌、いや三角点には近ちゃんはC、私はHのマーキングをす
る事としましたが、前半は発病に一日の長がある近ちゃん
の優勢が続きました。道なき道のヤブを漕いで蜘蛛の巣と
格闘しながらやっとの思いで三角点を発見すると、そこ
にはすでにCのマーク。(オッ近ちゃんナカナカやるじゃん)
しかし、時が経つにつれ行動半径が拡大されてくると、
形勢は逆転し、菌の勢いが強く、機動力にも優る私の優位
は不動のものとなってゆきました。(借り物の50ccバイク
では四駆には勝てないスラ)
かくして近ちゃんとの先陣争いは半年位で終焉を迎え、
その後はそれぞれの方法でリハビリに励む事となりました。

小沢さん こんにちは!



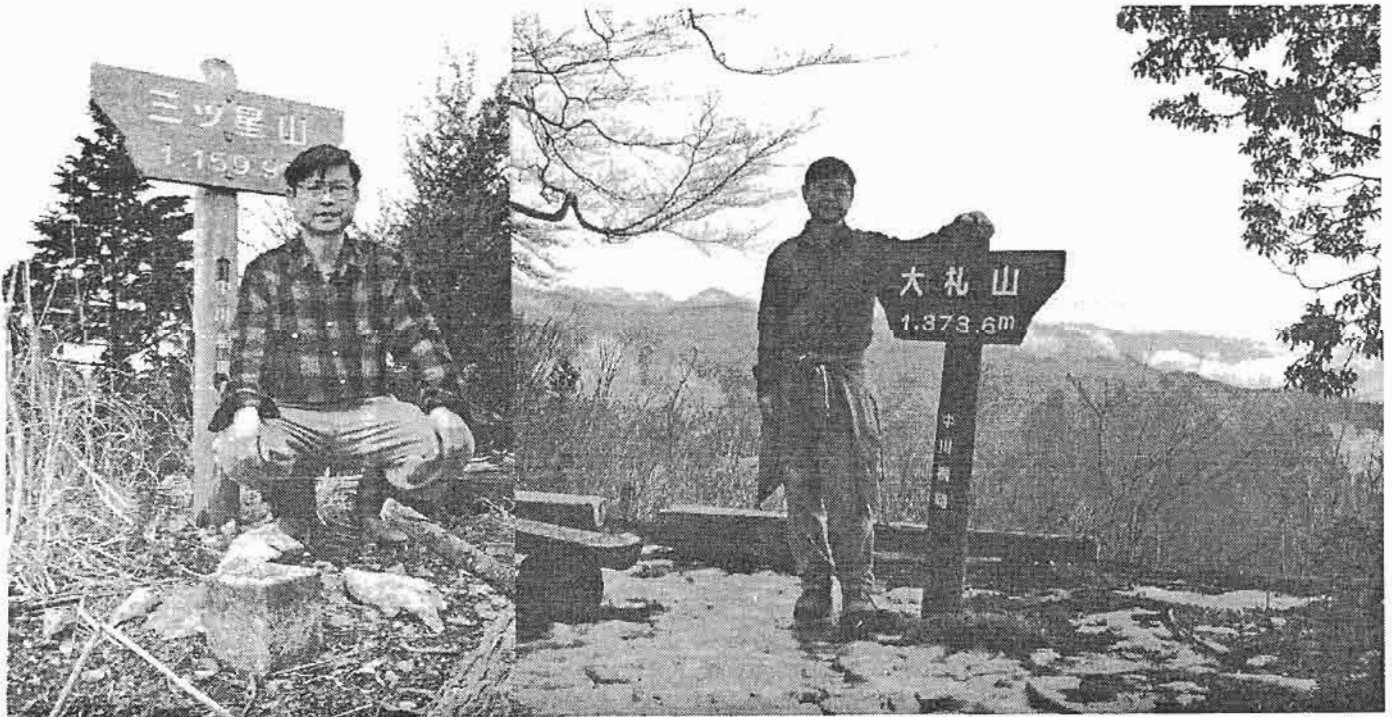
「中川根ふる里通信」いつもありがとうございます。
 私も山に魅せられての相変わらずの人生を送っています。
 昨年は40の山に登りました。赤石岳以降に16の山に登っています。
 今年になってからの「私の山々」を同封しておきます。
 3月に蕎麦粒山、高塚山に行こうとして山犬段に向かったのですが、土砂崩れて行けませんでした。
 止む無く大札山、三ツ星山に急遽変更した次第です。
 もう山犬段には車が入るんでしょうかねえ。
 今夏も「赤石岳」と「聖岳」に登ろうかと思っています。

この病気の麻痺性は三角点を見付けて「何等かな?」と覗き込む時です。あらかじめ等級が分かっているものは少ないから、先ずは見てのお楽しみです。意外な所に二等があったりすると嬉しくなっています。逆に汗水流してやっとの思いで辿りつき「二等かな?」と期待をして覗くと四等だったりします。(コノッ) いずれにしても脳内モルヒネが析出して次から次へと三角点を探し求める状態に陥ります。

これまで沢山の感動を味わいましたが、失敗もありました。山の中でヤブ蚊の大群に襲われ逃げる途中車のキーを落として車を乗り捨てて下山したり、ある時には長時間掛けて四つの山を駆け回り、めでたく三角点を見つけて写真を撮り、下山する段階でカメラにフィルムが入っていないことが、ことに気付いたり、またある時にはとんでもない所に下山して自分がどこにいるのかわからなくなったりしています。(マ、病気だから仕方ナイカ) <

そんなこんなで一七八点の三角点を確認してきました。全国には約九万六千あるようですが、私の四角い顔が三角になるまで、この熱病は癒えることなく続くことでしょう。

《三年ほど前の社内誌より》
 三角点探索病の鈴木さんも、会社(東海パルプ)では「生産技術」「機械保全」など技術講座の講師もやられていて、企業内の先生です。



三ツ星山 標高1160m 三等三角点 (2000.3.5) 大札山 標高1374m 二等三角点は、5mほどはなれた所に存在。(2000.3.5)
 [P8.文中のT.Q.Cとは、総合的品質管理の意味]

鈴木さんから、パソコン通信が届きました。
 カラーのとてもきれいな通信です。山の記録も「パソコン」で処理しているそうです。4月5日で149号。ご覧になりたい方は E-mail アドレスを!

東京のかたすみから(二十八)

テレビの始めから終りまで

テント村今昔

渡邊 賢夫



テント村ってお分かりになる方がどれだけいらっしゃるだろうか？ここでは、組閣や内閣の改造の時に首相官邸の前庭に作られるテント村のことで、組閣参謀の動きや、首相に呼び込まれる閣僚候補者から、組閣人事の情報をキャッチするために、官邸玄關脇に独自のテントを張り、マスコミ各社の記者が待機する場所である。私の在職当時、テント村を設営する時と総選挙開票速報特別番組が組まれた時が、テレビ局員にとって大騒ぎの出来る、二大祭りであった。この時期になると、局全体が活気づき、誰もが生き甲斐を感じたものだ。

編成局は特別番組オンエア(放送)体制の全体指揮、営業局はスポンサー手当て、ネットワーク局はローカル局への手当て連絡、総務局は食糧、アルコール、仮眠場所など夜食住の確保と出演者や社員の送り迎えのための配車、スポーツ、技術局は裏方として労務提供、さらに制作、経理、広報、企画、調査各局各部は全面的な報道支援体制をとった。普段は目立たない上役もこの時は、陣頭指揮をとった。上京したばかりの私は、東京のテレビキー局には、このお祭り報道が『めし』より好きだという燃える男たちが集まっていることを知った。



鹿野山神野寺のトラ騒動の二か月後、五十四年十月七日第三十五回衆議院議員選挙が行われ、自民党が大敗し、安定過半数をとれず、政局

が混乱した。大平・福田の党内抗争激化の影響や、一か月にわたる政治の空白続きで、組閣が手間取り、テント村生活が長引いた時のことであった。前回この欄でNHKにやられた話を書いたが、この時は偶然にもこちらがやってしまったのである。



十一月八日、テント村でのこと。派閥調整がスムーズに進まず、組閣が採めに採めて遅れきっていた。テレビ朝日としては、夕ニュースの放送時刻がせまったが、新大臣の閣僚名簿が出来ず、その情報すらあがってこなかった。やむなく、周辺ネタとして、テレビ各社のテント村風景の現場レポートに切り替え、カメラを首相官邸全景から官邸玄關脇のテント村へズームインした。

カメラマンとしては特に意識したわけでは無かったと思うが、あまりに美味しそうに豪華な弁当を食べている光景が入ったので、ついピンアプリーて大写真のまま、はらく止めた。あとから分かったことであるが、それがなんと、NHKの夕食現場であった。目には目を歯には歯を、というわけでもないし、鹿野山の仇を永田町で、というわけでは、勿論なかったが、相手の嫌がる台所を放送してしまったのである。現場では、いつも空腹で活躍しているカメラマンの目と心を、豪華な食事が、捕らえて放さなかったらしい。

以前は、自民党が大勝し、一党支配となると、派閥間の勢力争いが激しくなり、組閣の人事決定が遅れ、その結果テント村が長引いた。しかし、昨今は一党が過半数を占めることが出来ず、連立政権にたよらざるを得なくなり、党内で長々と採めていられなくなった。また、国内外の情勢が厳しくなり、何事も速い処理

なにかかわねるまじつうしん=56=

毎日新聞より
テント村の様子



あゝ、ドタバタ政治劇

が求められるようになった。そんなわけではテント村は設置しても半日で終わることが多い。また総選挙についても、コンピュータにより集票作業が早まり、生ワイドショー番組も増えて、その中で速報するようになった。

また、視聴者も昔のように長々とした選挙特番には興味を示さなくなった。昔は二日から三日かかった特番も半日で終わるようになったのである。
二〇〇〇年九月記

参考：読売新聞・朝日新聞。「活字にならなかつた戦後政治」宮村文雄著。「総理官邸裏話」西村秀治著。

予備選のしりとり一挙に爆発

国選での首相指名をめぐり、野党側は「大平政権」の崩壊を期す。野党側は「大平政権」の崩壊を期す。野党側は「大平政権」の崩壊を期す。

▽6・50 大平政權、東京・新田の邸宅で記者会見。大平は「大平政權」の崩壊を期す。野党側は「大平政権」の崩壊を期す。



新大臣はここで第一声を上げるはずだったが。ガラんとした音。記者会見(昨夜8時30分)

野党側は「大平政權」の崩壊を期す。野党側は「大平政権」の崩壊を期す。野党側は「大平政権」の崩壊を期す。

野党側は「大平政權」の崩壊を期す。野党側は「大平政権」の崩壊を期す。野党側は「大平政権」の崩壊を期す。

「産みの苦しみだ」「解散早いぞ」



ドキュメント「12.6」

野党側は「大平政權」の崩壊を期す。野党側は「大平政権」の崩壊を期す。野党側は「大平政権」の崩壊を期す。

野党側は「大平政權」の崩壊を期す。野党側は「大平政権」の崩壊を期す。野党側は「大平政権」の崩壊を期す。

野党側は「大平政權」の崩壊を期す。野党側は「大平政権」の崩壊を期す。野党側は「大平政権」の崩壊を期す。

野党側は「大平政權」の崩壊を期す。野党側は「大平政権」の崩壊を期す。野党側は「大平政権」の崩壊を期す。

野党側は「大平政權」の崩壊を期す。野党側は「大平政権」の崩壊を期す。野党側は「大平政権」の崩壊を期す。

二十二年前の新聞切りぬき、出めがねで見ますと、十二月六日の様子が刻々と判ります。貴重な文献ですから、ぜひ、提供、渡邊實夫さん

てに空上根川中 戦中

華 散

1945年5月29日
午前11時30分ごろ

十九世紀に生きた人々の願いは「二十世紀は戦争の無い平和な世界を築くこと」だったのですが、扉をあけたのはパンドラの箱の様な世紀になってしまいました。

太平洋戦争が終って五十五年の歳月が流れて「最早戦後ではない」の言葉が発せられてから三十年。二十一世紀には引き継ぎたくない切ない記憶も、めぐり去ることの出来ない史実として、八月十五日が周りに来る度に、私達は心より戦争を悔い、身を引締めて平和の誓いをしなければなりません。

敗戦色が濃くなった。昭和二十年五月二十九日、大井川上空、下泉、田野口間、日向山付近でアメリカのB29爆撃機編隊に、日本軍の戦闘機が体当たりしました。その時の様子を下泉の松下麟一さん(故人)が、新聞や米空軍の記録、十二人以上の証言をまとめた記録集『散華』一九八八年発行。に残して下さいました。貴重な記録集の、序にかえて、をお届けします。

大東亜戦争の末期、一九四四年、サイパン島をはじめ南方諸島を米国軍が制圧したころから、日本本土に対する戦略爆撃が始まった。米空軍の空襲が本格化した同年十一月から終戦までの九ヶ月半に、日本本土に飛来したB29は延べ一七五〇機、投下した爆弾十六万トン、被災者九二〇万人、死者三五万人、負傷者四二万人、全焼家屋は二二一万户といつ

恐るべき数字となったが、この空襲に参加した米軍軍人にも、日本空軍軍人にも多くの犠牲者がいた。

昭和二十年三月、硫黄島を占領した米軍の戦略爆撃はさらに大規模になり、日本の各都市への無差別爆撃を開始し、同月十日東京が大空襲に遭ったほか、大阪、名古屋、神戸、北九州等が次々に焼き払われた。

米軍にとって富士山が格好の目印になったため、御前崎から侵入して大井川上空で左右に旋回し、京浜や中京地帯を襲う場合が多く、大井川上空はB29やP51の通り道となり警戒警報や空襲警報は毎日のように発令され、誤って爆弾や焼夷弾を落とされたり、牧之原の大井航空隊基地を攻撃に来たグラマンやシコルスキーなどの艦載機が北(大井川中上流部)にまで足をのばして機銃射撃をすることもあった。

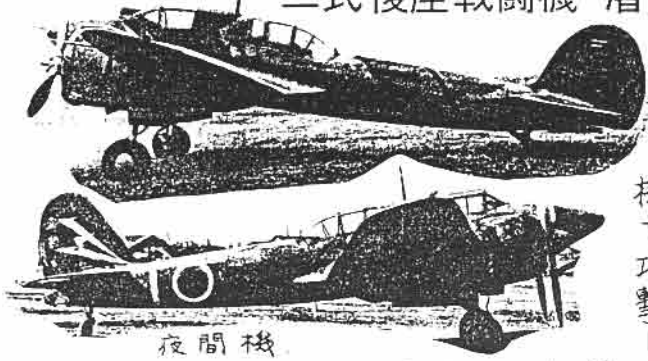
当時大井川流域の各村も、成年男子はほとんど召集徴用され、老人、婦人、子供が留守をまもり、苛酷な農林業の作業や世出、勤労奉仕などに従事していたが、沖繩戦の敗色が濃くなった四月下旬ごろからは、住民のすべてが、本土決戦は必死と信じ、夜を日について、食糧増産と戦闘訓練に励んでいた。国民戦闘隊結成の準備も進められていた。

そして、運命の日、五月二十九日は来た。

この日は朝八時ごろ空襲警報が発令され、II機編隊のB29が次から次へと、いつものように御前崎から侵入して大井川上空で右旋回して「通りみち」を爆進して行った。

この頃はもう住民は空襲に慣れたことになり、ほとんどのものが、防空壕にも入らず、木の蔭などからこの大

二式複座戦闘機「屠龍」(キ-45~改)



夜間機

戦隊を眺めていたが、あまりにも大規模だったので異常と不安を感じはじめた。
 午前十二時三十分ごろ西北方の上空に日本の戦闘機があらわれ、B29の二つの編隊にまつわるように旋回した後、編隊長機と思われる先頭のB29に体当りを敢行した。すさまじい閃光が走り、B29は黒煙と火焰に包まれ、キリキリ回りながら志太郡東川根村森平付近に空中分解して墜落し、日本の戦闘機も煙を引きながら無双連山の本城方向へ落ちて行った。

この戦闘機は愛知県清洲飛行場を基地とする飛行第五戦隊(第五三〇部隊)第二中隊所属の河田清治少尉(22才)当時操縦士山茂夫兵長(20才)搭乗の屠龍(キ-45)二式複座戦闘機で、午前八時ごろ基地を発進し、中部地区の哨戒に当たっていたところ、B29の大戦隊を発見し、西北方から迂回、待伏せし、機編隊(第44編隊)の指令機を攻撃しようとしたが、他の米機に撃たれ、右翼を失い、目標の指令機(ジョージ・ローリー大尉操縦)より、それよりM.R.クラーフジュニア中尉操縦のB29に激突し、B29はキリキリ状態でも落ち屠龍(河田機)も空中分解した。

この空中戦は多くの住民が目撃した。撃墜されたB29は空中分解して、森平の民家に落下し、胴体中央部は同所山林に落下、その他の部品も分解して半径2km位にバラバラに落ち、また焼夷弾も束のまま、あるいは分散して広

範囲に落ちたため、森平で二戸、小長井で二戸の民家、千頭で旅館一戸を全焼し、徳山村正島ほかで山林を焼いた。

B29の前方部の搭乗員五人は無惨に黒く焼けただけだったが、中央部の四人はあどけないきれいな顔でショック死しており、いずれもあわれであった。米軍九人の遺体は小高い丘に埋葬し、十字架に「米軍九勇士の墓」と書き丁寧に吊った。

撃墜されたB29から二人の米兵がパラシュートで脱出したが、間もなく小長井と平栗の山林で在郷軍人に捕えられ、憲兵に引渡され、その夜の内に金谷に護送され、翌日、名古屋の東海軍司令部に連行された。一説では参謀と情報将校が取調べた後、処分について処刑され、戦後その責を問われ司令部幹部がB級戦犯として処刑されたという、事実とすれば、米兵十一人全員が死亡したことになる。

体当りした日本戦闘機「屠龍」は本城山山頂付近に墜落した。すでに翼を奮われ失速していたためか、機体と機体の付近で戦死された土山茂夫兵長は、著しく焼けた形跡はなかった。河田少尉はパラシュートで脱出をかけたが開かず、坂京の向山に落下し、戦死された。二人の遺体は役場内の防衛本部に安置し、村長ほか大勢の村人が参加して、お通夜をし、翌日村営大葬場で荼毘に付した。

戦後、昭和二十五年、B29墜落現場付近で写生していた小学生が不発で残っていたプロペラ、式焼夷弾分散装置を拾って、いじっている内に爆発し、一人死亡、二人が重傷を負った。戦争による殺戮は、この小学生と同じような被害を受け

た大間集落の人や処刑された東海軍幹部も含め戦後にまで尾を引いたのである。

なお、河田少尉は大尉に、土山兵長は軍曹に特進し、総軍司令官から威状を授与され、上聞に達せられた。確認はされてはいないが、この日の空中戦で同部隊の鈴木少尉が体当りし散華されたという。

大東亜戦争では日米その他交戦国の人々数千万人が犠牲になり、川根三町でも九〇六人が戦死し、二八人が戦傷を受けた。そして、戦争末期には、この山奥の村も戦場となり、十三人の前途有為の若人が散華し、五戸の家が焼かれ、戦後にも小学生が爆死するなどいたまじい事件が続いた。こうした悲惨な戦争は再び起こしてはならない。それには、戦争の実態を語り継ぎ、戦争で犠牲になった人々が、死をもって贖

がなつた平和をみんなで見守らなければならぬ。それが、戦争犠牲者に対する最善の供養であると感じ、この記録をまとめた。この記録をまとめるに当り、次の方々から大変お世話になつたので心からお礼申し上げます。(順不同)

- アメリカ合衆国駐日大使
マイケル、J、マンズフィールド閣下
- 同 大使館武官室 ラリー、T、ロウ海軍大佐
- 同 リチャード、L、空軍大佐
- 厚生省援護局、愛知県援護局
- 静岡県高齢者対策課、朝日新聞社静岡支局
- 毎日新聞社、静岡新聞社、中川根町・本川根町
- 元飛行第5戦隊長、元陸軍少佐 馬場 保英 榎 保英
- 同 隊 元陸軍曹長 松下 教一 榎 保英
- 河田少尉同期生 元陸軍中尉 草川 崇 榎 保英
- 土山兵長の妹 後藤 芳太郎 榎 保英
- 元在郷軍人会東川根分会陸軍曹長 後藤 芳太郎 榎 保英
- 元憲兵隊金谷分駐所憲兵軍曹 鈴木 元 榎 保英
- 元徳山国民学校訓導 清水 光雄 榎 保英
- 本川根町藤川前山 鈴木 忠雄 榎 保英
- 中川根町田野口 鈴木 利郎 榎 保英
- 同 中川根町 八中 中川 根 榎 保英
- 元国民学校児童 田森 卓二 榎 保英
- 中川根町立中川根中学校校長 高畑 智 榎 保英
- 同 教頭 鈴木 伸昭 榎 保英
- 同、中川根第一小学校教頭 前川 哲次 榎 保英

1987年12月1日
松下 慶一
静岡県榛原郡中川根町下泉109番地
* 松下さんは昨年亡くられました。奥さんの千裕子さん
が上記住所に住んでおられます。TEL. 0547-56-0701.



米空軍の次頁料より

五月二十九日に十二機の飛行機が横浜にむけて出発した。当時の横浜近郊には三菱重工、数多くの埠頭、倉庫、石油倉庫、軍需品供給所、造船所、日本炭素会社、フォードモーターズ等があった。爆撃は高度一八七〇メートル(約六〇〇m)から行われた。二回目の爆撃の時四八九四号パイロットM.R.クラークジュニア中尉が敵機により撃墜された。

編隊が目的地に向かい、富士山の近くを飛んでいると、ツイエンジン(二機エンジン)の敵機が編隊の四九五マイル(約六七八km)前方、やや上空に認められた。その機は第四編隊を目標し、明らかに〇〇一五号(ジョーシ・ローリー大尉操縦)の指令機を攻撃しようとしていた。その敵機がすでに炎上していた、という乗組員もあれば、そうではないという乗組員もあり、その点は定かではない。その敵機が近づいた時、五四二号が銃撃をすると敵機の右翼が落ち、〇〇一五号への向きをそらし、四八九四号へとぶつかっていった。その衝突とともに爆発が起こり、四八九四号は一方の翼がとれ、きりもみ状態になっていった。敵機は空中分解をした。ある報告によると、一三三個のバラシエートが四八九四号の後方に見え、北緯三五度五分、東経一三八度一五分三〇秒の地点の山中へと落ちていった。というものがあつた。

この衝突は計画の上でのことと思われ、この時の空中戦について正当な説明をすることができる明確な証拠はない。ただし、少なくともこの衝突のとき、敵機は操縦能力を失っていた。この四八九四号を除いては、全ての機が無事に基地へ戻った。
北緯35.5、東経138.15の地点は静岡市大川の東となり、墜落現場とほぼ同緯度で、経度は五分前後の差いと考えます。

寄稿

同段深山の晴次女

神奈川県横須賀市坂本町五ノ五十
大西 春雄 より

二十五・六年前、主人が田舎へ行った時、その帰りに嫌がる私達を無理やり連れてきました。当時私達は、湘南の潮風と神奈川の水に馴染むことができず、長い間ホームシックになり、ベソをかいていました。何時しか元気に成り、こんなに立派に成長することができました。今、思うとこれも一重に主人のお陰だと感謝しております。

先日そんな私達を見ながら「こいつらしいかくなったな」なんて独り言を言っていました。が、それを後ろで聞いていたネコが、何のこともだか解らないのか「ニヤーンダ？」と一声残して立ち去りました。今はそんな懐かしいふる里の方言も聞くことの出来ない今日この頃です。

富士を西に見ながら

ドウダン・ミツバより

追伸

毎回、今度は何んな事が載っているのかな？と楽しみにしています。

木津先生、高畑先生の計報にはびっくりし、淋しく思いました。中学で音楽、国語を教えていただったので……。55号では「市場寅夫君を訪ねて」を読み、同じ水川出身として、屋久島で頑張っている姿を知る事が出来、大変喜んでいきます。これからいろいろと情報を集めてまいりますのでよろしく。



奈那子

500号発行記念



（社）日本善行会
東京都千代田区有明町
2-10-1

善行会は、青少年健全育成と真の人間づくりを会務とし、人々の善念を貫かれん社会づくりと善行活動の普及に努める事の意義の重大さを広く社会に伝えるため、昭和十二年伊藤辰男氏を中心に在会団体として発会しました。

中川根ふる里

通信のこと

静岡県榛原郡

小澤 節子

川根地方にはいろいろな香りがします。お茶の香り、山の香り、脈々と受け継がれた伝統文化の香り、季節の移ろいも鮮やかです。

※あまのこは昭和28年12月14日発行、平成12年10月1日付500号

中川根ふる里通信 = 第55号 =



八十八夜の茶畑、地名、駅付近

年四回発行A四判十六頁、手書き写植印刷です。現在五六号に取り組み中。「コンピュータやインターネットの時代、何故手書きにこだわるの？」と感じられる方も多いと思いますが、「今のままで続けてほしい」と言う声がほとんどです。読みやすい字体、誤字をしない様子を付け心を込めて書いています。

故郷を出て全国各地に根付いて生活されていらつしやる皆様には、風に乗せて、ふる里の香りを届けたい。そんな気持ちでふる里通信を始めました。

創刊から十五年、バックナンバーファイルもぐーんと厚くなりました。当初会員が二百人足らず、いつまで続くことやら、と自他とも思っておりましたが、一回発行部数も千部を越えました。町出身の方々に加え、川根地域をふる里と思つてくださる皆様も大勢見下さるようになり、また

今、川根地域は、やがて日本が経験するだろう三十年先取りの高齢社会となっております。情厚い住みよい地域です。熱き想いを通信に乗せつつ、訪れてくれる人々が元気になります。

ふる里通信の使命はいろいろあると考えますが、こちらからの一方的な通信にならないよう、読者の皆さんからの情報寄稿も紹介して双方向の交流紙にしたいと考えます。

定期購読のお願い

中川根ふる里通信は有料発行です。

Ⅰ部 年共 200円

皆様の定期購読がふる里通信の発行を支えます。年4回の発行(3ヶ月ごと)を予定しております。今回で購読の切れる方と始めてふる里通信をご覧になれる方には郵便振替用紙を同封致しますから引き続きご購読をよろしくお願い致します。

もし購読を止めたい時や住所変更のりも是非ご連絡下さい。

郵便振替通知票番号 00870-4-81556

加入者名 中川根ふる里通信係

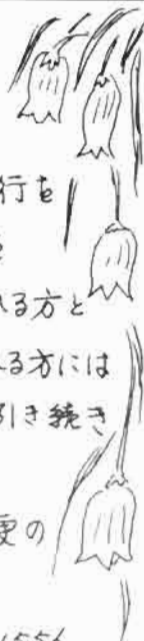
ふる里通信に関する問い合わせ先 及

発行責任者 年428-0313

静岡県榛原郡中川根町上長尾859-6

川 沢 節 子

TEL. 0547-56-0015



日本列島災害が続出して気が休まらないですね。火山の噴火、地震、集中豪雨、雨無し、温暖化と地殻も気候も変動期に入ったのかと考えてしまいます。一五〇五年を周期とする東海地震も、二十一世紀中には必ず来るそうですから、いざという時の心掛けをしなければと思いま

九月十五日から始まったシドニーオリンピック、楽しかったですね、すっかりテレビに夢中になりあつという間に半月過ぎています。競技者と観客が一体となって一層の盛り上りを感じました。二十世紀を締めくくる素晴らしいオリンピックだったと思います。次回は近代オリンピック発祥の地アテネ、二十一世紀を平和な世紀となります様祈ります。テレビボケして発刊が遅れた事おゆるし下さい。



すが、東海地震のメカニズムが解明されたから二十余年防災意識もうすれがちです。伊豆諸島地震で各地が揺れているのにこちらは全然揺れないのも心配の種です。テレビで名古屋市を囲むように流れる庄内川が氾濫した時のシュミレーションを見て半月もいない内に、新川堤防決壊、天白川も氾濫で名古屋市と西枇杷島町など大災害となりました。お見舞い申し上げます。都市部が集中豪雨になった時は、雨水が大地にしみ込む所が少なく、小さな川はまたたく間に増水しますし、低い所(地下など)へ流れ込むので、下水も含め都水の治水は容易ではなさそうですね。

七月八日午後七時すぎ、県道島田本川根線の島田市身成(川根町渡島から大井川沿いに新しく造られた道路の島田市へ20メートル位の地点)で、乗用車同志の衝突事故があり、全国ニュースに流れるほどの大事故でした。上長尾の中村茂さん(中川根町役場職員)運転の車と、ブラジル人運転のレンタカーで、中村さんは島田からの帰り、ブラジル人は大井川上流行祭の帰りだった様で、スピードオーバーでカーブが曲がり切れず、対向車線にはみ出して衝突しました。この事故で中村さんの車はガードレールに突きささり、中村さんと奥さんの祥子さんは即死、後席の息子さん(高校生)は重傷となり、ブラジル人も六、七人全員が大怪我をおいきました。高速道路や都市部では時々起きる事でしょうが、身近なのは大事故に暗い気持ちになります。一度に父母を失った二人の息子さん(一人は中学生)、これから先、運命に負けず生きてほしいと願うだけです。ご冥福をお祈り申し上げます。